

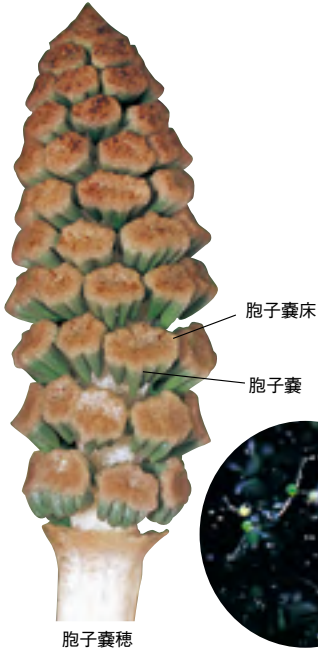
スギナ (トクサ科)

Equisetum arvense

多年生のシダ植物。荒れ地、造成地、土手の斜面などに生育。地下茎が長くはい、その節々から芽を出して増える。ときどき大群生する。春、早く出るツクシ(土筆)はスギナの孢子茎で、この頭(孢子囊穂)には多数の孢子囊がつき孢子が散る。和名は杉菜の意味。



孢子茎と栄養茎は地下でつながる。ツクシのはかまというのはさや状の葉のこと [5月、長野]



孢子囊床
孢子囊

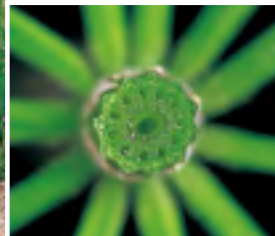


孢子は4本の弾糸をもち、乾くとのびて孢子を弾き出す

孢子囊穂



葉はごく小形のさや状



茎(主軸)の断面。中空で枝が輪生



空き地に群生するスギナの栄養茎